



【特集】

技 紙のリサイクル工場として建物再生 ～大掛かりな改装工事で環境美化～

●ノンレール門扉を採用

古紙の仕入れ・販売、再生紙管の製造・販売などを手掛ける(株)安田紙業。今秋、高岡市北部エリアの拠点となる能町営業所・工場が新しく誕生した。もともと鉄工所として使用されていた鉄骨造の建物と敷地を数年前に競売落札。大掛かりな改装と外構工事によって、廃墟同然だった建物は見違えるほどに再生した。



▲ブルーのシャッターが目を引く外観。



▲ノンレールの軽いアルミ門扉。



▲計量機まわりは水の浸入を防ぐため、一段高くなっている。



▲安全棒などの設備で安全操業。



▲工場・倉庫の床は全面コンクリート。



▲施工前



▲水銀灯で明るい工場。

スーパーや工場、オフィスから回収した古紙を積んだ車両や、プレス後の製品を製紙メーカーなどへ運ぶ大型トレーラーが旋回するため、敷地は広く、全面アスファルト舗装。計量機が埋め込まれた中央部は、水が浸入しないように、傾斜をつけて舗装されているのが特長だ。

天井は水銀灯を設置。以前の床は一部が土間で、砂利も敷いてあった。古紙が水に濡れると、製品の質が低下するため、全面コンクリートでしっかりと固めた。南側の建物には大型古紙梱包機(プレス機械)を設置

天井には水銀灯を設置。以前の床は一部が土間で、砂利も敷いてあった。古紙が水に濡れると、製品の質が低下するため、全面コンクリートでしっかりと固めた。南側の建物には大型古紙梱包機(プレス機械)を設置した。農業用水路は地元のかたの管理がしやすいように配慮しました。」
(株)安田紙業の環境管理責任者である安田智美専務取締役は「もともとの建物をきれいにリフォームし、営業所、工場、倉庫を整えました。環境、景観がよくなったと地元からうれしい便りが届いています。高岡をはじめ、氷見、新湊エリアからの古紙をお引き受けします。みなさん、よろしくお願ひします」と話す。
(株)安田紙業では、港に近いことから中国市場も視野に入れ、能町営業所工場をリサイクル紙の海外窓口として位置付けていく考えだ。

●水洗いし、錆止め塗装できれいに

建物は、北側に倉庫、南側に大型の古紙梱包機を備えた工場が配置されている。大型トレーラーや車両が出入りしやすいように開口部は広く、ブルーで塗装された大型シャッターも印象的だ。建物外壁がグレーのスレートのため、明るくクリーンな雰囲気を演出しようと鮮やかなブルーに塗装したという。シャッターのサイドには車両の安全に配慮してイエローの金属ポールが各所に立っている。



▲大型の古紙梱包機を装備した工場内部。



▲梱包された古紙

天井高約九メートルの大空間が広がる工場と倉庫は、築三十五年ほどとは思えないほどきれいだ。「施主さんがこの物件を購入される前から荒れ放題だったと聞いています。ここまでにするのは大変でした。二棟の壁面、鉄骨の汚れがひどく、クレーン付きの工事車両を使って水洗いし、錆止め塗装を施しました」と施工担当者。

「工場が見違えるほどきれいに」
担当してくださった建設会社さんとは以前からおつきあいがあり、安心して改装工事をおまかせしました。工場・倉庫棟が見違えるほどきれいになって満足しています。建築年数からみて、ゆくゆくは建て替えも考えていかなければならないと思いますが、それまでは補修などしていきたいですね。会社としては、古紙、資源のリサイクルを通し、社会、地球環境の保全に貢献していきたいと思っています。



高岡市 株式会社 安田紙業様

今月のオーナー訪問



技のリフォーム

イワサ ミセマス

☎ 0120-183-304

住所／高岡市米島440-1
電話／0766-224488